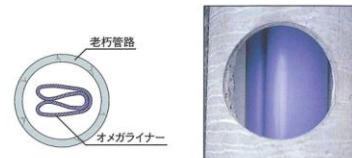
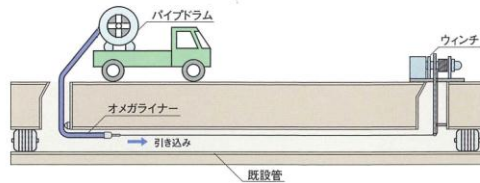


オメガライナー工法 既設適用管径150~450mm

あらかじめ工場でΩ状に折りたたんだ形状記憶を持つ硬質塩化ビニル製パイプを蒸気で加熱することで円形に復元させ更生します

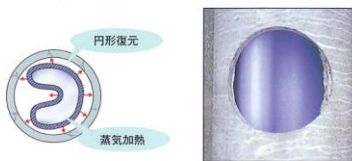
1 既設管への引き込み。

マンホールよりオメガライナーを既設管に引き込みます。ドラム巻き長さは60m以上(呼び径により異なる)で、1スパンを無接続で引き込み可能です。



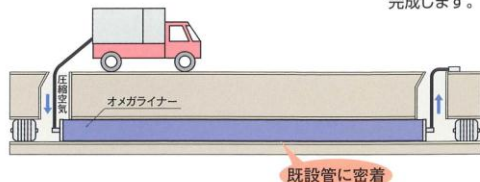
2 蒸気加熱で円形復元。

ボイラーユニット車よりオメガライナーの内部に蒸気を送り込みます。蒸気によって加熱されたオメガライナーは形状記憶効果により円形に復元します。



3 圧縮空気により既設管と密着。

円形復元後、低圧の圧縮空気(0.03~0.20MPa)を送り込むことで、既設管内面に密着します。低圧をかけたまま空気で冷却することにより、完全に密着して、耐久性、耐食性に優れた塩ビ管による更生管路が完成します。



ロングスパンの施工が可能で、 曲がりや段差にもフレキシブルに対応。

60m以上のロングスパンに対応(呼び径により異なる)。接続部のない水密性に優れた一体管路がスピーディに構築できます。また、既設管の曲がりや段差にもフレキシブルに対応します。

臭気の発生・火災の心配もありません。

更生材料に有機溶剤を使用していないため、臭気対策や火災等の心配がない安全な工法です。



●蒸気加熱状況

工法の特長

- ◇ 加熱のみで円形にスピード復元
- ◇ 強度・耐久・耐食・水理耐震性に優れている
- ◇ レベル2地震動に対応
- ◇ 非開削だから周辺環境影響へ配慮
- ◇ スピーディーな施工でコスト縮減

施工例

